

「発生」で何を教える？どう教える？

～発生分野のバックグラウンドとなる研究の利用～

日時 2023年12月10日（日）午後1時30分～3時30分
 話題提供者 東京都立大学 福田公子准教授

みんなで脳に汗をかきましょう！

【趣旨説明】

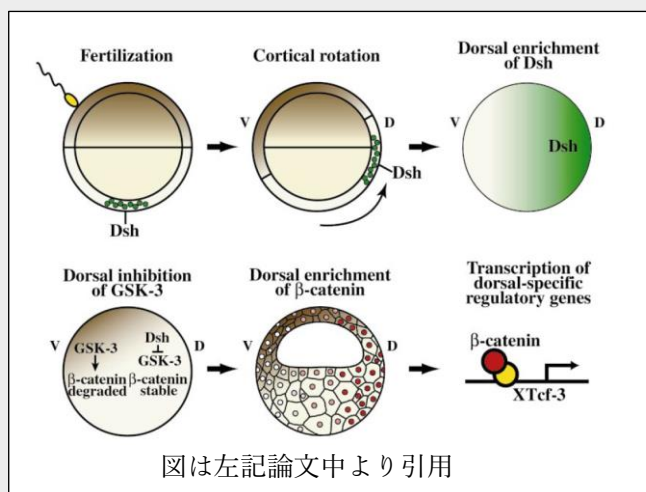
高等学校学習指導要領「生物」の中で、発生分野の学習は、これまでの大項目「生殖と発生」から「遺伝子情報の発現と発生」に移りました。それに伴い、学習のあり方をどう変える必要があるのでしょうか？発生分野の学習では多くの用語が出てきて、「それらを全部覚えなくてはいけない」と思われがちでした。今回の改訂では、使用する重要用語数が示されましたが、具体的にはどんな指導が望ましいのでしょうか？



今回は、「両生類の背側化因子が Dishevelled である」ことを明らかにした Miller らの論文

”Establishment of the dorsal-ventral axis in *Xenopus* embryos coincides with the dorsal enrichment of dishevelled that is dependent on cortical rotation”

(Journal of Cell Biology 1999) を題材にして、教科書にある説明文の背景を知り、発生分野で「何を、どのように教えるか？」を議論したいと思います。論文の概要については、日本語資料を準備します。また、理解しづらい用語の説明もしますので気軽にご参加ください（上記論文は、次の URL からダウンロードできます）



<https://rupress.org/jcb/article-pdf/146/2/427/1854866/9901105.pdf>

※ 参加費 無料

※ 申込方法 グーグルフォームからお願いします。

申込 QR コード



<https://forms.gle/qCWTkd5SALHosmBg7>

※ 参加者には、2～3日前までにズームミーティングIDとパスコードをお知らせします。

※ 問い合わせ先：生物教育研究所 info@tibe.sakura.ne.jp

連絡先電話番号：090-5367-9778 （中道貞子 生物教育研究所研究員）

※ 参加者へのお願い T&D は、教師の主體的・対話的で深い学びを目指しています。当日の議論を円滑に進めるため、「疑問に思うこと」や「聴きたいこと」などを、できるだけ申込フォームにご記入ください。

【註】生物教育研究所について

生物教育に関わるさまざまな活動を続けている生物教育者（主として、フルタイム勤務を終えた者）で構成されている研究機関。

研究員は、それぞれが関心のあるテーマについて研究活動や啓蒙活動を行っている。

所長：片山舒康(東京学芸大学名誉教授) HP <https://tibe.sakura.ne.jp/index.html>